

島原市の街の将来像

—歴史的町並み・湧水・古民家を活かす—

シンポジウムでのレクチャーに代えて

2022年3月30日

神田雅子／アーキキャラバン建築設計事務所

はじめに

令和4年1月27日、18時より、サンプラザ万町ホールにて開催予定でありました、「街づくりシンポジウム～歴史的町並み・湧水・古民家を活かす」は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、残念ながら中止となりました。

シンポジウムにてレクチャーをするために準備を進めていた内容を、ここに資料として簡潔にまとめ、提出いたします。

目次

1. 島原市にあるもの

期待されるもの	2
役者は ほぼそろっている	3
写真 山と海・湧水と水流・歴史と文化遺産	4
アーケード街	8
「あみだくじ」のような街路	9

2. 島原市にさらにあると良いもの

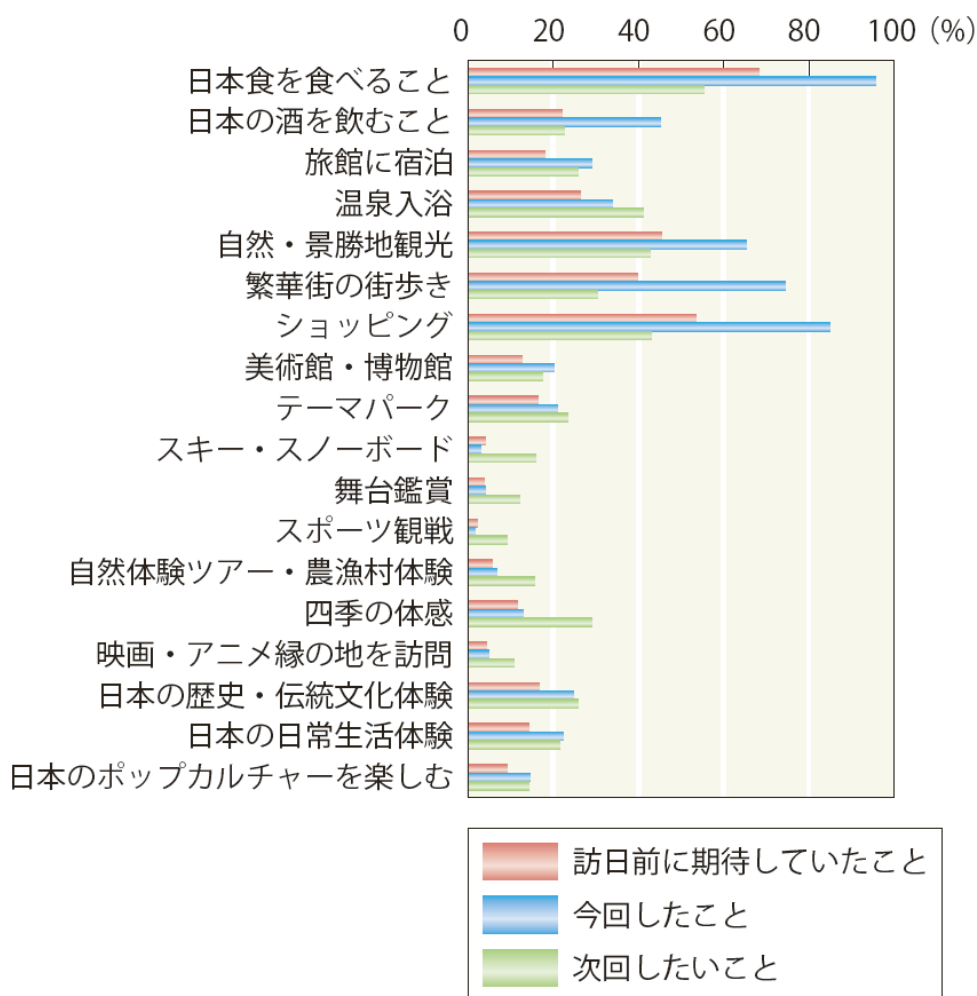
市内に泊まってくれば、より賑わう	10
まちに泊まる・暮らすように旅をするという発想	11
アルベルゴ・ディフーズの手法の事例 谷中	12
島原のまち全体がホテル 概念図	13
自然エネルギー活用でまちの経費を削減	14
参考 アーケード街周辺の業種別マップ	15

3. アーケード街と町屋敷通りをつなぐ賑わいの広場イメージスケッチ

1. 島原市にあるもの

期待されるもの

皆さんが旅行をする際には主たる目的を何におくでしょうか。
近年増え続けている（コロナ禍による2020年以降は別として）インバウンド（訪日外客）の統計を示します。ここでみる、インバウンドの期待の項目に島原が対応できることはどのくらいあるでしょうか。



出典：『観光の動向（平成29年版）』観光庁

役者は ほぼそろっている

島原には何があるかを、ここにあらためて並べてみます。
もちろん、これ以外にもまだいろいろあるかもしれません。
こうして見てみると、島原には人々が観光、あるいは、旅行者に求めることがらが、豊かに存在しています。人々の日常の生活においても、旅行者にとっても極めて恵まれた環境といえます。

●交通



●温暖な気候



●豊かな自然・景勝



●歴史・文化



●繁華街

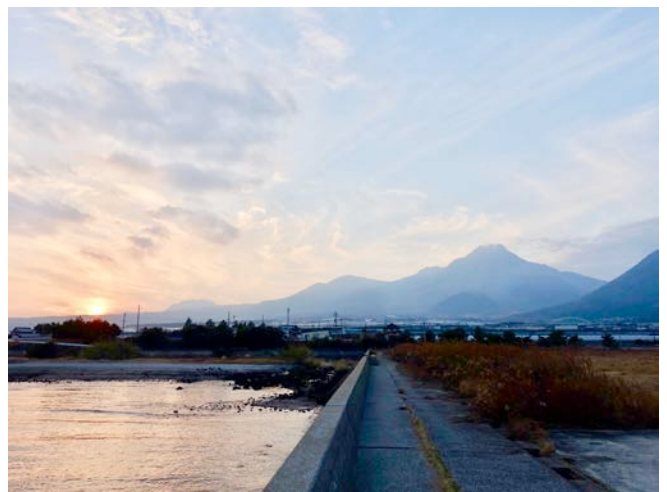
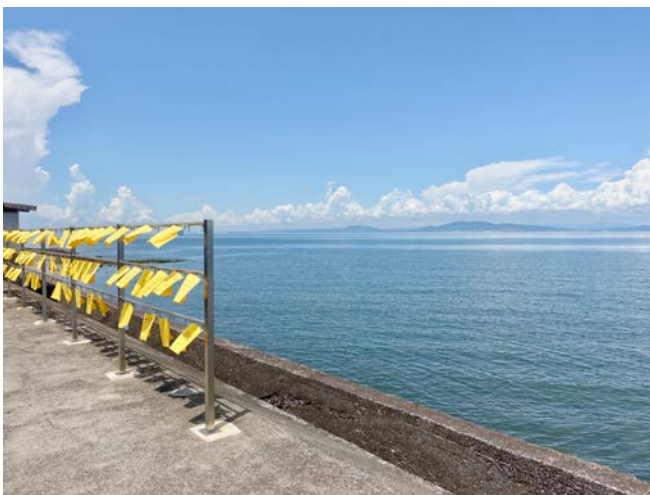


●美味しい食事・菓子



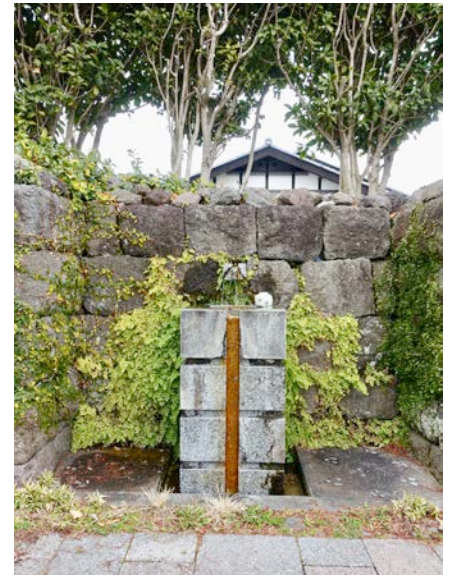
山と海

島原のまちは、山に守られ、海に開かれている。



湧水と水流

まち中には、いたるところに水の景があり、水が流れる音がしている。



歴史と文化遺産



歴史と文化遺産



1. 島原市にあるもの

アーケード街

屋根のある屋外は、外気の開放感がありながら、雨をしのぎ、天候に左右されことなく人々は移動や活動ができます。各地に進出する大規模ショッピングセンターが人気がある理由の一つが天候を気にせずに過ごせることですが、そこに外気の開放性はありません。

アーケード商店街は「横の百貨店」ともいわれます。島原市の南北に全長750mに渡って続くアーケード商店街は、アーケード幅6m、その両側に面する店舗の奥行きを仮に2mとすると、幅10m×長さ750mで、7,500㎡の売り場面積を持つ百貨店ともいえます。外気を感じつつ、天候を気にすることなく、また、上下移動をすることなく、ふらりと散策できるアーケード街は島原市の貴重な財産といってよいでしょう。

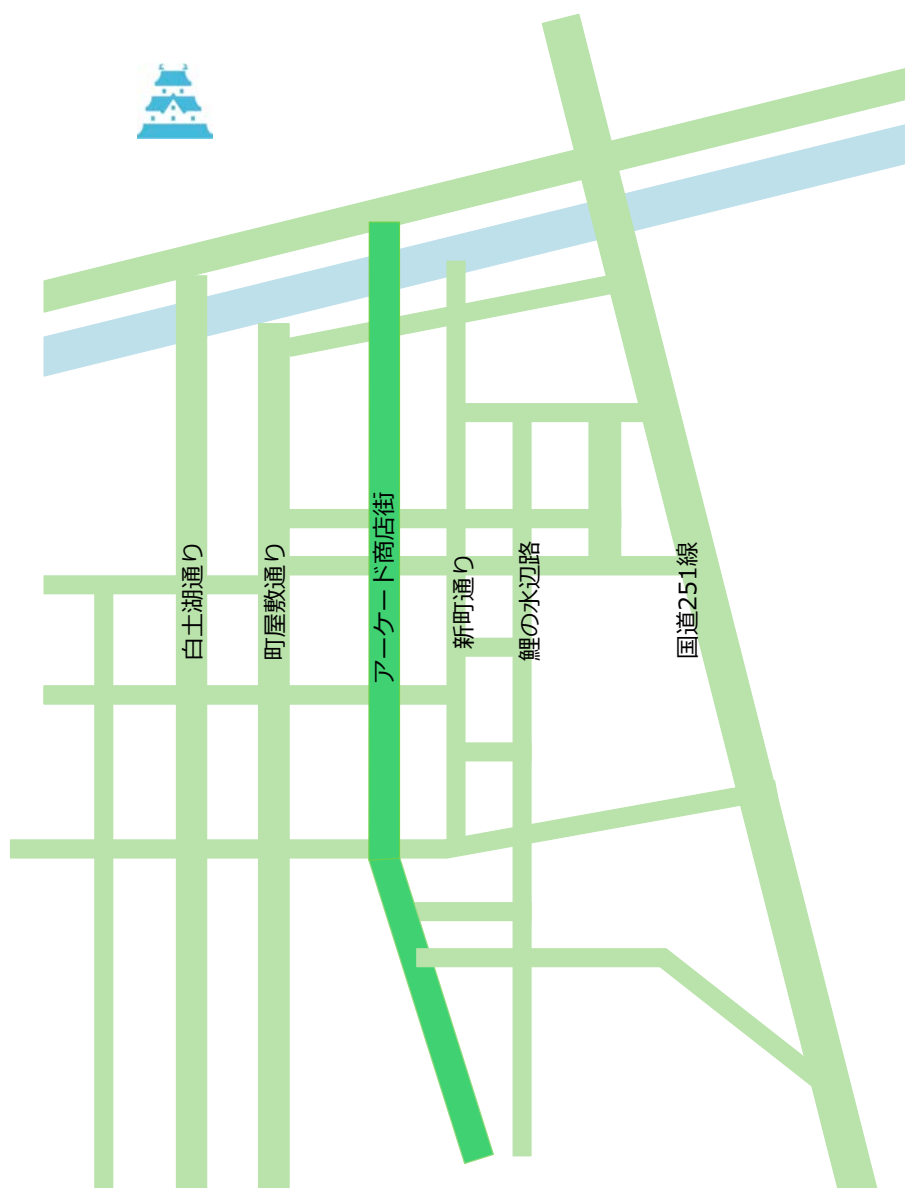


「あみだくじ」のような街路

アーケード街のある地域は、西の白土湖通り、東の国道251線との間に、西から、町屋敷通り、アーケード街、新町通り、鯉の水辺路の3つの道が南北に続いています。それら6つの道を東西の小路がつなぎ、まるで「あみだくじ」のような道路網です。

アーケード街を中心とした界限には、各所に湧水とその水路が巡り、江戸末期から明治期に建てられた建物が残り、さらに、多くのカフェ、一部にはスナックなどが集積しています。まち中を巡るための様々なテーマのマップも準備されています。駐車場も多くあり、乗り物を降りて散策を楽しむポテンシャルの高いまちといえます。

近年は空き地・遊休地が増えているようです。それらを利用して、南北に走る道どうしをつなぐような位置に、地元の人でも外来者も気兼ねなく時間を過ごせるような、屋根のある屋外、もしくは、屋内のフリースペースをしつらえることができれば、よりいっそう、豊かな交流と多くの人々で賑わう町になる可能性があります。



2. 島原市にさらにあると良いもの

市内に泊まってくれば、より賑わう

「宿泊者1名は、観光事業者3名の雇用誘因に結びつく」というデータがあります。例えば、奈良を訪れる観光客は京都に宿泊することが多く、宿泊率が低い傾向にある中、2010年に開催された「平城遷都1300年記念事業」では、奈良県内に宿泊してもらうことを意図して、会場内での滞在時間を延ばす会場計画を行い、さらに、奈良県内各所を巡る企画を積極的に行った結果、予測時の想定宿泊率を大きく上回ったということです。

はじまりの奈良、めぐる感動。

第一次大極殿正殿が完成・公開される平城宮跡を中心会場に、県内各地において、多様な主体の参加を得て、平城遷都1300年を祝祭する様々な記念イベントを展開します。飛鳥・藤原京から平城京にいたる時代をはじめ、奈良県全域に重層的に分布する古代、中世、近世等の歴史・文化資源や豊かな自然環境などを生かして、東アジア各地をはじめ、国内外の人々が集い、交流する場や機会をつくりだすとともに、県内を楽しく周遊・探訪できるルートづくりを進めます。

平城京 周辺
斑鳩 信貴山
大和 高天原 宇陀
平城宮跡
飛鳥 藤原
葛城
吉野

出典：社団法人 平城遷都1300年記念事業協会 パンフレット

島原には、多様な形態と中長期滞在にかなう観光資源があるにも関わらず、宿泊は長崎市、あるいは、雲仙市内でということが多いのではないのでしょうか。島原市の宿泊率を上げることによって、新たな関係人口創出を推進することが期待できます。

コロナ禍を経た今、人々の働き方が多様になりつつあります。新たな旅のスタイルのワーケーションやブレイジャーへの対応、また、市内にある学校関係の研修、合宿等の受入れは、関係人口の拡大や企業との関係性の構築による地域の課題解決への寄与、遊休施設等の活用などのメリットを生み、ひいては地域ビジネスや経済の活性化につながります。

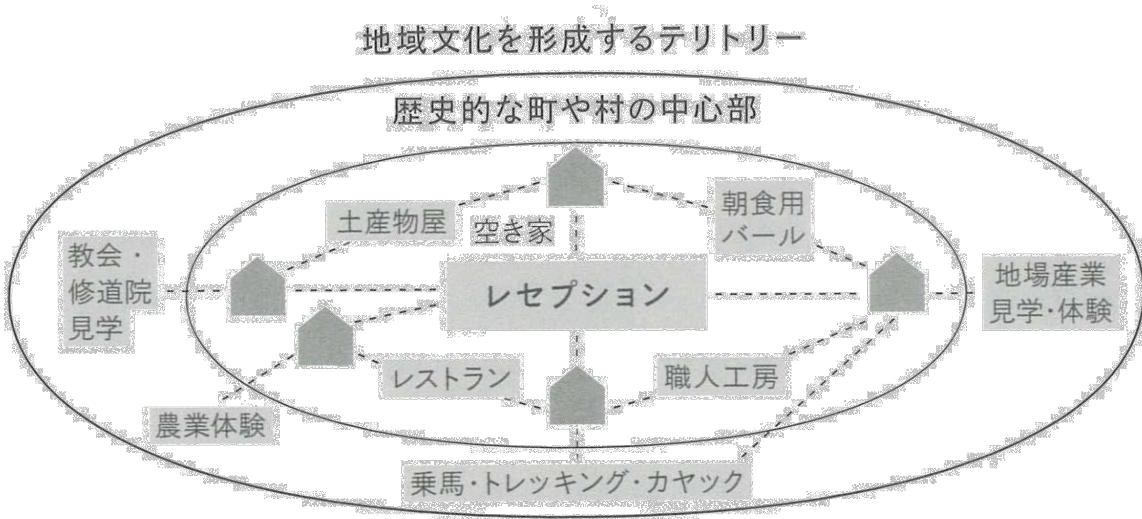
従来の宿泊施設概念と個別の収益だけにとらわれることなく、誰もが自由に過ごせるフリースペースや比較的安価に宿泊可能なゲストハウスなどを検討し、地元の人々が日常的に、また、地元の人々と旅行者の、あるいは旅行者同士のつながりを生むような新たな居場所を美しいデザインで作りだしたいと思います。

まちに泊まる・暮らすように旅をするという発想

1976年のヴェネチア北部地震の後に、復興手法として考案されたアルベルゴ・ディフーゾ (AlbergoDiffuso)は、「分散したホテル」という意味です。現在では、各地域の特徴を生かした個性的な宿に泊まりながら、地域の暮らしや文化を体験できる宿泊を提供する手法として各地で実践されています。

従来のホテルは、レセプション、ロビー、客室、レストランなどの機能が一つの建物の中に縦に積層されていることが多いですが、アルベルゴ・ディフーゾは、レセプション、ロビー、客室、レストラン、さらに、売店や浴場などまでが、まち全体に横方向の広がりを持って分散していることが特徴です。

●アルベルゴ・ディフーゾのモデル



出典：『CREATIVE LOCAL エリアリノベーション海外編』

●アルベルゴ・ディフーゾ (AD) と既存の宿泊施設機能の比較(松下2016)

比較項目	伝統的ホテル	農家民宿	AD
建物(居室空間)のデザイン	観光客のために再デザイン	オーナー、訪問客のためにデザイン	居住者のためにデザイン
プライベート空間	居室とバスルーム	居室とバスルーム	全体がプライベート空間
居室の配置	通常、一棟の中層建築物の一室	通常、一棟の低層家屋の一室	分散する街路沿いの建物の多様な空間
提供されるサービス	レセプション、掃除、レストラン、プロフェッショナルなサービスなど	レセプション、掃除、レストラン、オーナーの個性によるサービスなど	レセプション、掃除、(レストラン) 地域全体からの多様なサービス
顧客(観光客)に対する商品	ホテルのサービス・パッケージと生産物	民宿のサービス・パッケージと生産物	ADを含む地域全体のサービス、生産物
顧客と地域との接触	ホテル職員に限定	限定的(オーナーや宿泊客)	直接的に地域コミュニティに接触
地域コミュニティの関与	関与はほとんどない	間接的な関与	ADの運営に直接的に関与
経営形態	通常、企業経営	通常、家族経営	個人、協同組合など
求められるアウトプット	収益性	収益性	収益性、地域コミュニティや地域環境への関わり
求められるアウトカム	企業の経営環境の発展と地域貢献	個人の経営環境の改善と地域連携	地域全体の活性化

出典：アルベルゴ・ディフーゾの実態と日本への応用可能性/立教大学アルベルゴ・ディフーゾ研究班伊藤千夏

アルベルゴ・ディフーズの手法の事例 谷中「HAGISO」 「hanare」

<https://hanare.hagiso.jp/about/> より抜粋転載

ABOUT

hanareは東京・谷中のホテルです。

しかし、単に一つの建物に完結したホテルではなく、まち全体を一つの大きなホテルに見立てることで地域と一体になったホテルです。

ホテルのレセプションは最小文化複合施設「HAGISO」の2Fにあります。

宿泊室はまちの中。大浴場はまちの銭湯。

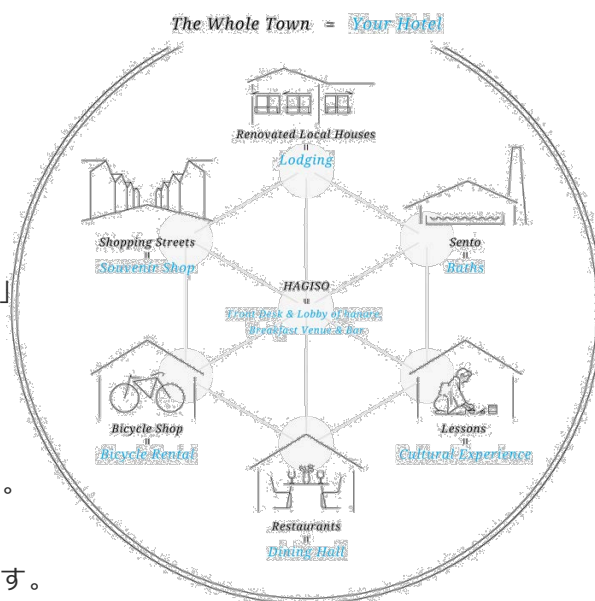
ホテル自慢のレストランはまちの美味しい飲食店。

お土産屋さん、お土産屋さんは商店街や路地に店を構える雑貨屋さん。

文化体験はまちのお稽古教室やお寺で。

レンタサイクルは自転車屋さんで借りることができます。

朝ごはんはHAGISO1階のHAGI CAFEで毎朝ご提供します。



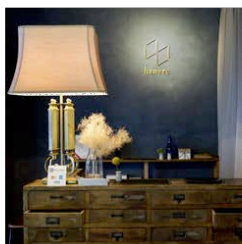
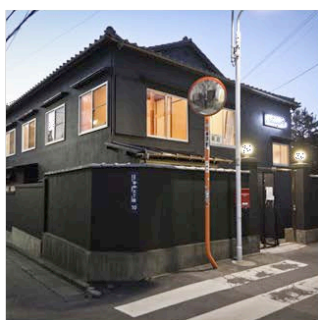
地元の方も利用するカフェでは、穏やかな朝の時間を過ごすことができるでしょう。

そしてまた今日もまちとの新しい出会いが待っています。

あなた次第でまちはホテルになる。

the whole town can be your hotel

--- HAGISO



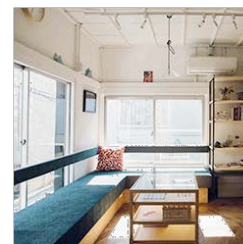
レセプション

HAGISO



CAFE

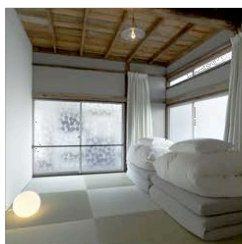
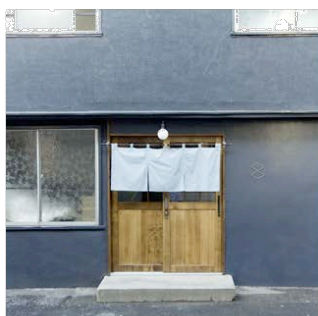
HAGISO



LOUNGE

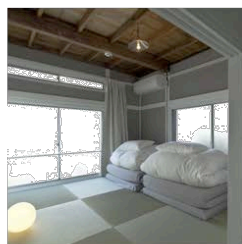
HAGISO

--- MARUKOSHISO



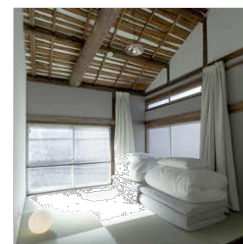
YATSUDE

Marukoshiso



KASUMI

Marukoshiso



HIKARI

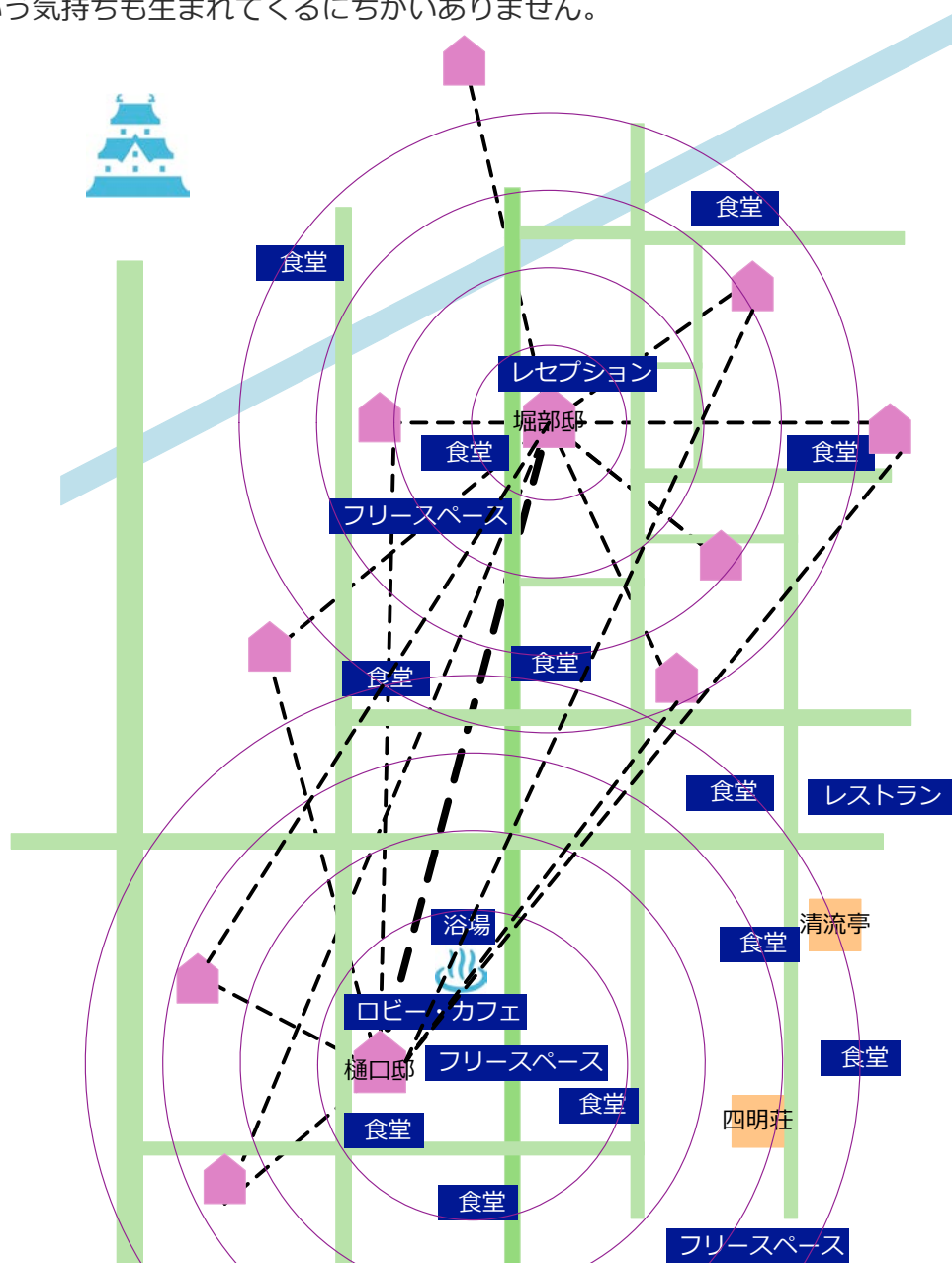
Marukoshiso

島原のまち全体がホテル 概念図

仮に、アルベルゴ・ディフーズを島原市で行うとすると、レセプションは旧堀部邸、ロビーは旧樋口邸界隈のフリースペース、客室はアーケードの東西各所にある空き家をリフォームした部屋、食事や買い物、つまり、レストランと売店は商店街の中の好きなお店で、浴場はゆとろぎの湯で、という具合です。

旅行者は、島原のまち全体をホテルとし、中長期滞在などの場合は、まるで島原で暮らすように過ごすことができます。

まちに分散されたホテル機能は、旅行者だけでなく、ここに暮らす人々にも提供され、日常の暮らしの中のサードプレイス（家・職場以外の他の居場所）として使えるようにします。そこでは、地元の人同士、旅行者間、また地元の人々と旅行者との交流が自然と生まれてきます。人と人のつながりが生まれれば、再び島原を訪れたいという気持ちも生まれてくるにちがいありません。



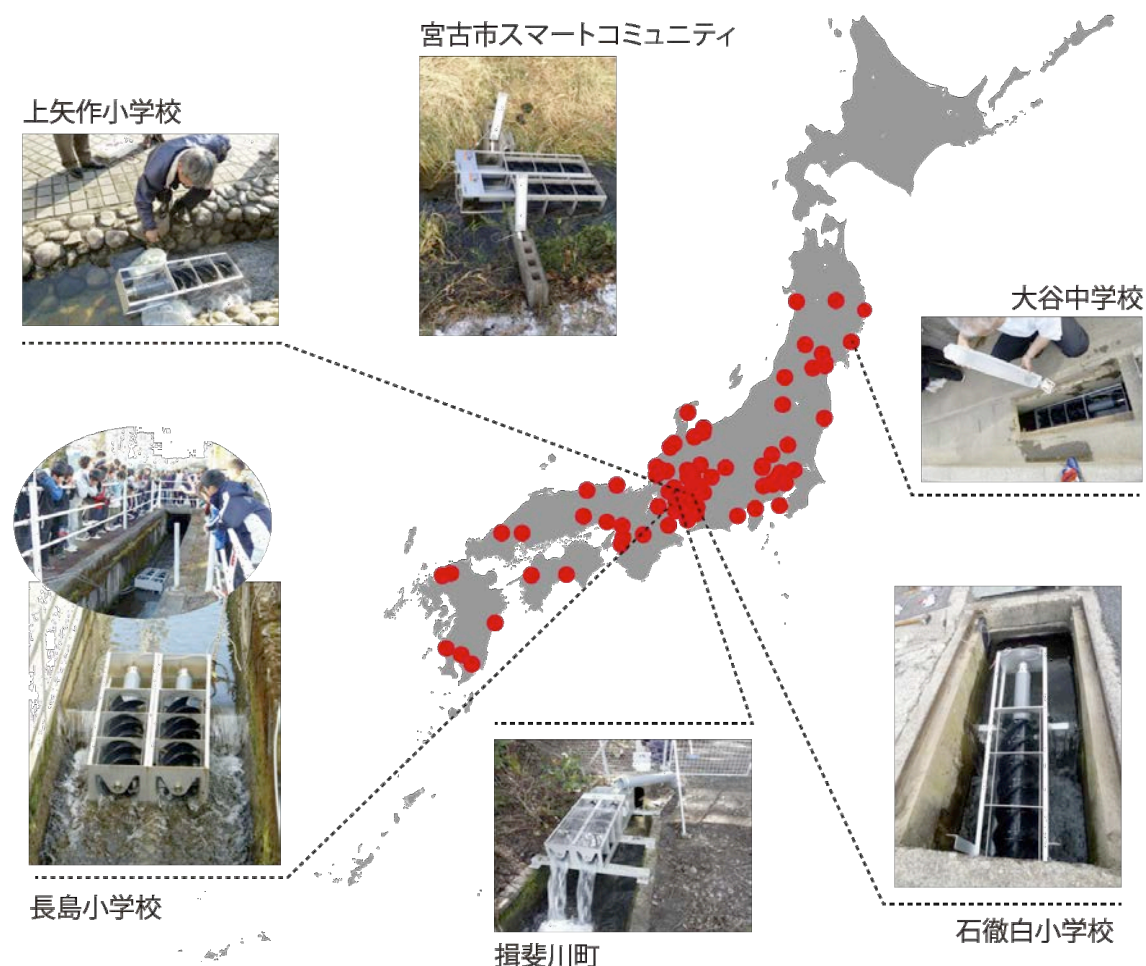
自然エネルギー活用でまちの経費を削減

各国、各地域、企業、団体、個人のSDG'sへの取り組みは世界的に推進されています。

豊富な湧水による水力発電、アーケードの屋根上への太陽光モジュール設置による発電など、島原は、自然エネルギー創出のポテンシャルは高く、エネルギーの地産地消が可能な地域といえます・

たとえば、螺旋式ピコ水力発電装置「ピコピカ」などの小型水力発電装置の導入で、地域の防犯灯を湧水の水力で灯すことができるかもしれません。

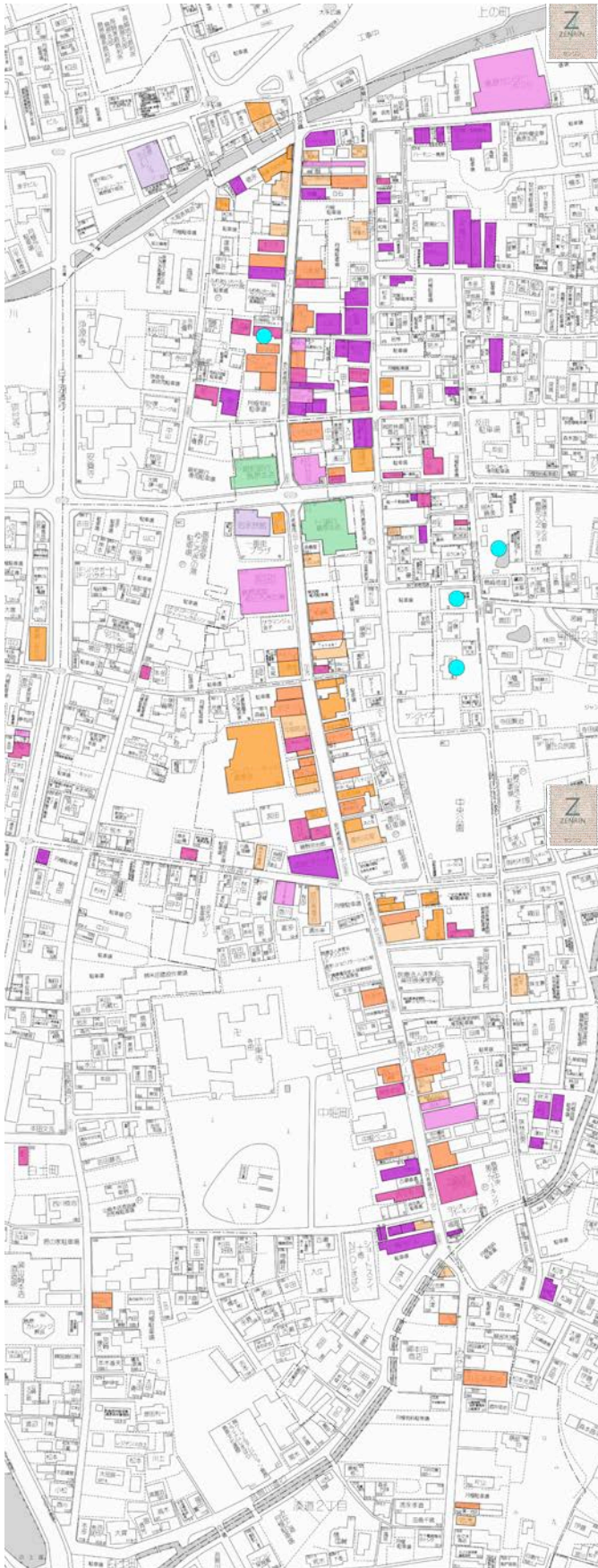
(現時点で具体的な機器検討や島原の水量での実証は行っていません。)


























出典：有限会社角野製作所「ピコピカ」パンフレット



参考 アーケード街周辺の業種別マップ



凡例		
飲食店・遊興施設	食事・カフェ	
	バー・スナック	
	カラオケ・ゲーム	
物販	衣料品	
	食料品	
	その他	
宿泊施設	ホテル・旅館	
	民宿	
理・美容院		
サービス業		
製造業	商業系	
	工業系	
医院		
薬局		
福祉施設		
住宅	一戸建て	
	共同住宅	
学校		
事務所		
銀行		
行政施設		
駐車場		
宗教施設		
観光スポット		

●伝統的町屋をリノベーションし、多くの人々が集まる場として再生。

●湧水を利用したごく浅い湧水池（スプリング）とその周囲のフリースペース。地元の人々、来訪者、旅行者が思いおまいの時間を過ごすことができる。

●お隣さんの水路とつながる

●ランチストアは、市内や近傍のお店の出店

●アーケード街とつながる

●町屋敷通りとつながる

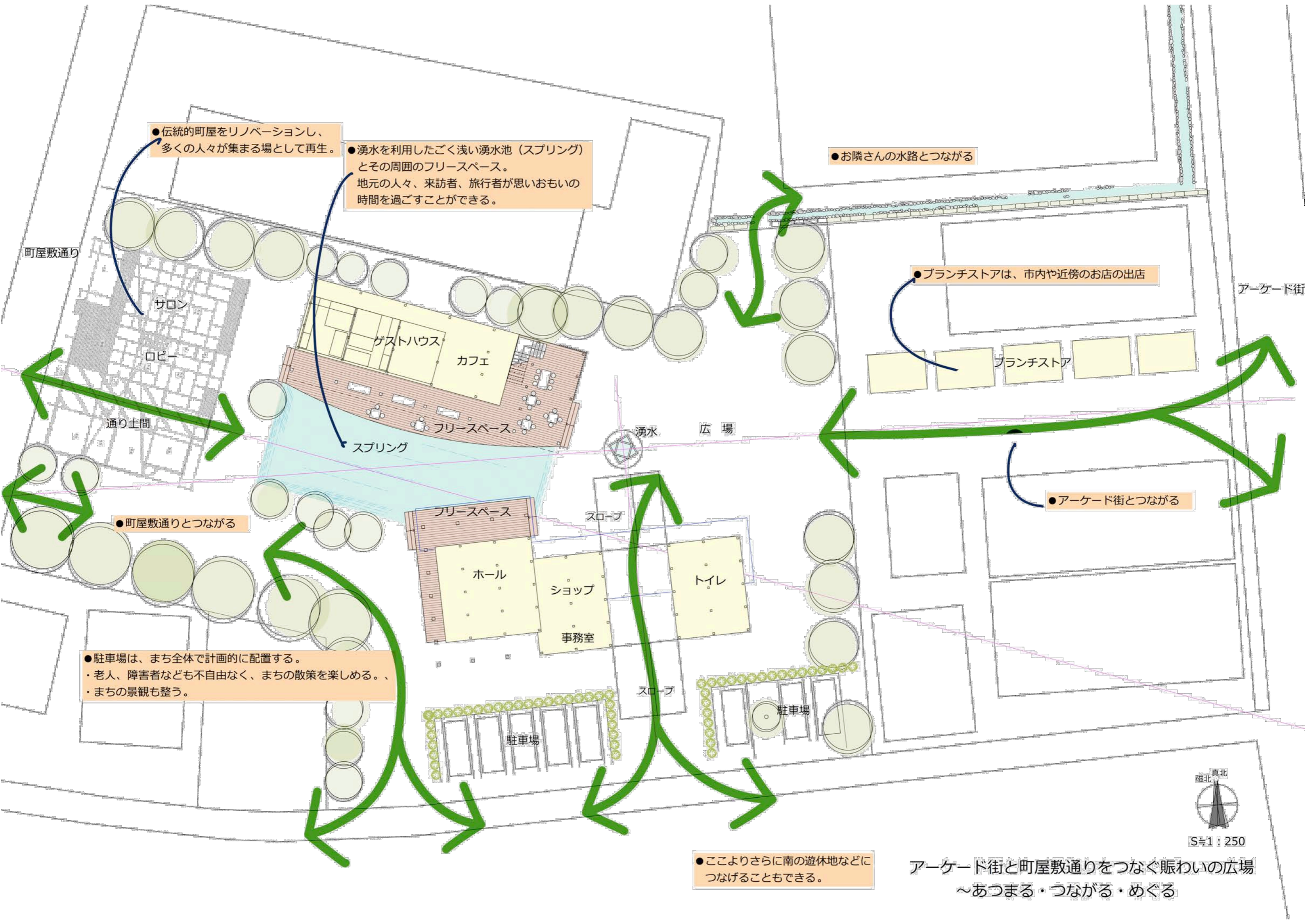
●駐車場は、まち全体で計画的に配置する。
・老人、障害者なども不自由なく、まちの散策を楽しめる。
・まちの景観も整う。

●ここよりさらに南の遊休地などにつなげることもできる。

アーケード街と町屋敷通りをつなぐ賑わいの広場
～あつまる・つながる・めぐる



S=1:250

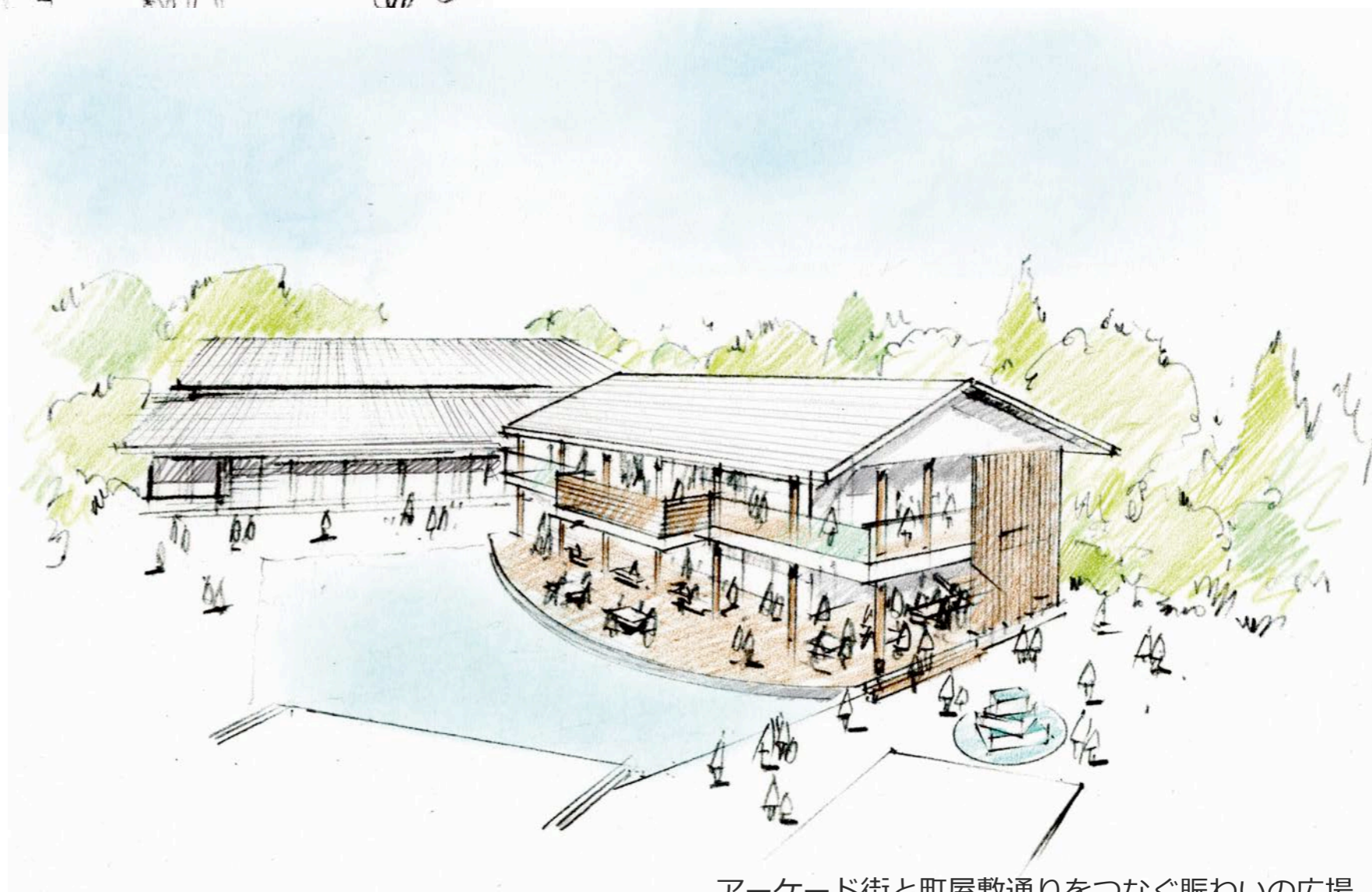




切子灯籠の照明を灯したアーケード街



町屋敷通り側からスプリングに面したフリースペースを見る



ホール棟の屋根越しに町屋敷方向を見る

アーケード街と町屋敷通りをつなぐ賑わいの広場
～あつまる・つながる・めぐる